

肝 蛭 症

二〜三cmの木の葉状の吸虫が肝臓に寄生し起こる急性ないし慢性の疾患で、食欲不振、軟便、下痢、あるいは便秘などの消化管障害の症状で現れます。泌乳量の減少、受胎率の低下、体重減少(削瘦)など経済的損失が甚大です。

予防と駆虫

肝蛭の予防および駆虫は、肝蛭の発育の過程のいずれかのステージを遮断すればいいのですが、中間宿主であるヒメモノアラガイを殺滅させることは極めて困難です。

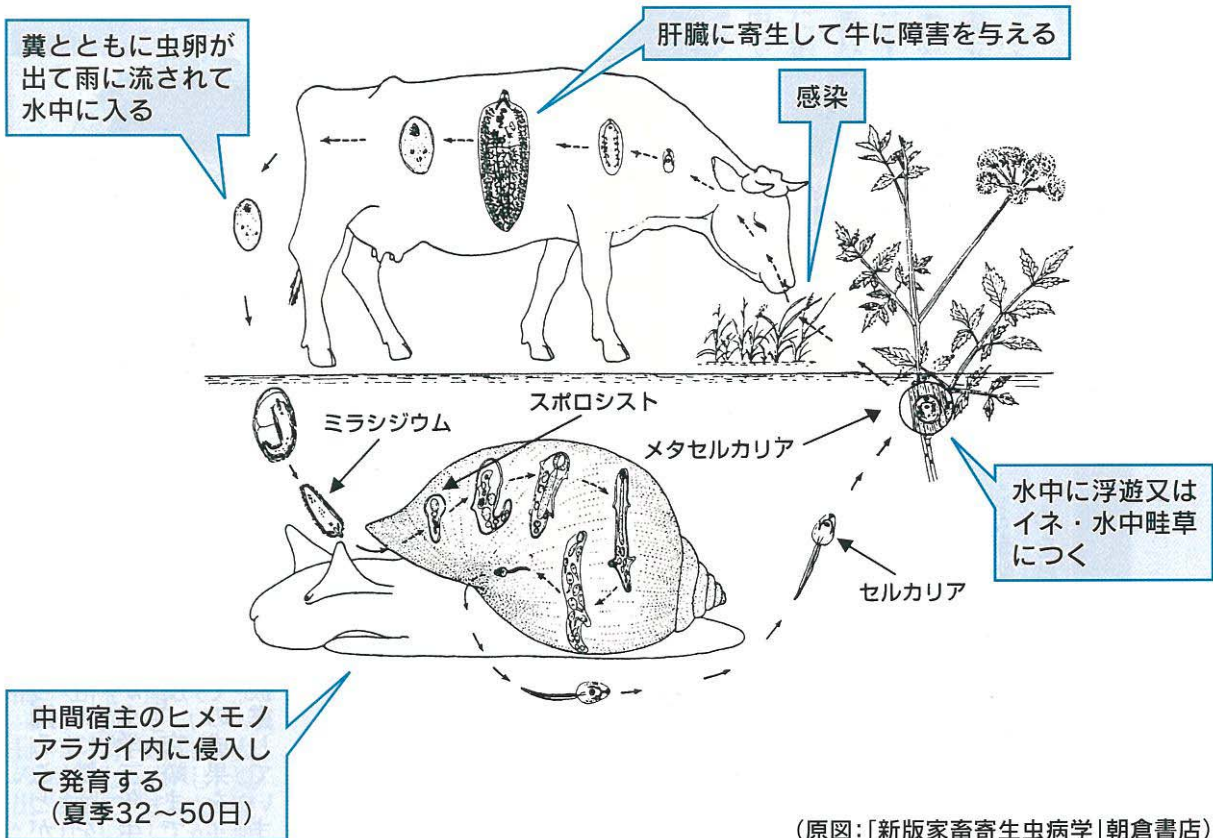
ですから最も効果的な駆虫方法は、牛の体内の虫体を殺すことです。年二回の駆虫薬を飲ませることを習慣付けましょう。

またわが国では、メタセルカリアが付着している稲ワラの給与が主な感染源と考えら

れます。新しい稲ワラは三〜四ヶ月保存してから給与したほうが予防につながります。

◎年2回必ず駆虫しよう！
◎新しい稲ワラの給与は3ヶ月経ってから！

肝蛭の発育模式図



(原図:「新版家畜寄生虫病学」朝倉書店)